

講義名	キャリア実践論(3年生のみ)			授業形態	
担当教員	前川 明	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	3年生

### 主題と概要

大学生は、就職という社会への入口に不安を抱いている。学生は多種多様なスキルを評価する就職試験にも戸惑いがある。就活はスタートラインである「何のために働くのか」という働くことの意義を自覚し、その上で社会・企業が求めている社会人基礎力を中心とした知識と能力を自ら磨いていくことが大切である。就活は3年生の前期から準備が始まり、4年生の前期まで続く(未決定の場合は卒業まで続くこともある)。就活対象者は自分の強さや長所を再認識し、志望理由を明確化させる必要がある。また企業が期待する求める人材像やコンピテンシーを理解し、自己成長の目標に明確していくことが重要となる。

授業概要は、自分の強み・弱みを知ること(自己PR)。また、働くことの意義(価値観)、自分にとって良い会社の定義で志望動機を考えること。さらに、自己アピールカ、プレゼンテーションカ、会話力(面接・グループディスカッション)を高めるために、実践的な演習を交えて展開する。

### 到達目標

到達目標は、「なぜ働くのか」「あなたの強み」「あなたにとってよい会社の条件」の問いに、しっかりとした考え方を身につけることである。その上で自己PRの作成方法と会社選びの基準づくりを学び、総合的な就職力を高めることにある。

- ・自己PR等の筆記試験対策で得意・不得意な分野を自己評価する。
- ・自分の強さ・弱さの分析から自己PRをまとめる。
- ・業界企業を分析し、自己PRと志望動機につなげていく。
- ・就職力を高め、自分の立てた目標設定と就職戦略を策定する。

### 提出課題

- ・ 毎回授業のミニレポート
- ・ 課題レポート(1回)
- ・ 企業で求められる基礎能力(筆記試験)の小テスト
- ・ 期末レポート

### 課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

課題(レポートや小テスト等)を提出した次の授業で、課題の全体講評を実施します。また、毎回の授業で提出するミニレポートについてはクリッカー(Respon)を使用し、次の授業の冒頭で、前回授業のミニレポートの内容(感想、質問)を紹介し、必要に応じて、解説、回答を行います。

### 評価の基準

- ・ 毎回の授業に関連してのミニレポートの作成(45点)
  - ・ 課題レポート(演習)(10点)
  - ・ 企業で求められる基礎能力(筆記試験)の小テスト(10点)
  - ・ 期末レポート(35点)
- 期末レポートの提出のない場合は単位認定しませんが、必ず期末レポートの提出をお願いします。それ以外の課題は期限内の提出、内容、記入量(指定された文字数以上)を基に評価するため、提出しただけでは評価しませんので、注意してください。

### 履修にあたっての注意・助言他

- ・ この授業はいつでも社会に出て行くための練習の場でもあるため、社会生活を送る上で必要なルールやマナー(時間を守る、私語を慎む等)を守って出席してください。
- ・ 授業で紹介する参考書籍を読むことが授業内容を理解する上で非常に役立ちます。
- ・ 特に先輩の就職活動について関連されるニュースについては出来るだけチェックしてください。
- ・ 提出課題(課題レポートなど)は必ず提出してください。
- ・ 3年生から4年生にかけて、就職活動のピークを迎えますので、就職希望の学生は必ず受講し、日頃から新聞等で社会全般についての情報に関心を持ってください。

### 教科書

.使用しない。

### 参考図書

.なし。

### その他

毎回の授業に使用する資料は配布します。また、参考文献は授業内で紹介します。

### 授業計画

- 1 イントロダクション：就職環境の現状と課題
- 2 働くことの意味
- 3 社会・企業を取り巻く環境
- 4 仕事研究
- 5 自己分析
- 6 自己分析
- 7 筆記試験
- 8 筆記試験
- 9 自己分析
- 10 エントリーシート・履歴書
- 11 エントリーシート・履歴書
- 12 グループディスカッション
- 13 面接
- 14 面接
- 15 就職活動の戦略の立て方

### 授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア：PBL(課題解決型学習)	イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
○：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
カ：プレゼンテーション	ク：実習、フィールドワーク
キ：その他(A型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

### 準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 1 授業に関連する本や新聞記事や雑誌を読んだり、ニュースをチェックしたりする習慣を日常的に付け、特にキャリア・就職・労働・雇用・ビジネスなどといったキーワードには注目するようにしておく(毎回1時間)
  - 2 授業のなかで紹介した参考図書や参考資料などを読んだり、目を通してしておく(毎回30分)
  - 3 授業で学んだことの復習や実践(毎回30分)
- 上記の1-3に加えて、自己分析 業界地図や就職四季報、企業IP等での企業研究・仕事研究 SPIなどの筆記試験対策 以上 - について1日1時間は時間をかけて準備すること。具体的な方法は授業内で紹介します。

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

当該科目は、社会に出るために、自分の強み・弱みを知ること(自己PR)。また、働くことの意味(価値観)、自分にとって良い会社の定義で志望動機を考えること。さらに、自己アピールカ、プレゼンテーションカ、会話力(面接・グループディスカッション)を高めるために、実践的な演習を交えて展開することを目的とした授業であり、「豊かな社会の実現に貢献できる知識と能力を持ったビジネスパーソンの育成」という本学のOPとまさに合致しており、中でも特に就職活動を進めるための知識を実践で生かせるようにする「知識を知恵に変換できる 論理的思考力を持った人材」を育成することと合致していると考えられる。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業内での疑問や毎回授業のミニレポートはクリッカー(Respon)を使用し、授業中の教員からの疑問についてはリアルタイムで意見の解説を行い、授業後に回答するミニレポートについては次の授業の冒頭で、前回授業のミニレポートの内容(感想、質問)を紹介し、必要に応じて、解説、回答を行います。

### 実務経験の有無及び活用

実務経験あり  
小売業での販売職(3年)、洋菓子メーカーでの人事(採用・教育)(5年)を経て、その後、19年間、キャリアコンサルタントとして大学生の就職支援、キャリア教育、転職者の面接指導、面接のセミナー、企業の採用支援(面接代行)に従事している。その経験を生かして、大学での学びや大学生生活(課外活動など)での経験が、どのように社会で役に立つのかを案例を交えて解説を行います。

### 備考